

開講科目名 Course	租税法研究演習 1 年（松井先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18022
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 2
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	松井 幹夫
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	5 2 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	松井 幹夫（法学研究科修士課程）
授業の目標	論文テーマに係る裁判等の事例研究及び発表並びにゼミ生同士の討議、を通して指導教授の指導を仰ぎつつ、論文作成の基礎固め(資料収集を含む。)をする。また、他ゼミとの合同ゼミを行う
授業の概要	本演習では、参加者各自が選択したところによる専門テーマについて、テーマ選択者による報告、他の参加者による質疑、全員による討議、合同ゼミ及びミニ合同ゼミの開催を通じて租税法の研究を深めるとともに、修士論文のテーマの選定と指導にあたる。
評価方法	【評価方法】 出席及び授業への貢献度等を総合的に勘案して評価する。
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	特になし。
授業計画	1回から15回まで共通。ゼミ生が選定した論文テーマを絞り込み(テーマを変えることもある。)、主に判例研究(2～3週間で1回程度発表)をとおして、租税法論文の法的思考能力を習得するとともに、論文の書き方に係る形式面を習得する。
テキスト	
参考書	
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授 業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授 業の内容	
質問への対応方法	ゼミの時間で随時対応。
フィードバックの方法	ゼミの時間内に判例研究資料(添削済みのもの)を返却。
予習・復習等、準備学習の内容及 び時間	判例研究の資料収集、研究レポート作成に必要な時間として60時間程度確保する必要がある。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標(1～10)	
SDGs 17の目標(11～17)	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	